

「第三回 海の森とヤマネコの植樹祭」  
対州馬乗馬体験



私たちはこの笑顔を守ります



「対州馬少年倶楽部年間報告会」

- ★3月定例会あらまし……………2
- ★3月定例会一般質問 6～10
- ★常任委員会審査報告……………3
- ★対馬市議会からのお知らせ 10
- ★予算審査特別委員会審査報告 4
- ★所管事務調査報告 11～12
- ★会派代表質問……………5
- ★編集後記……………12



## 令和4年第1回対馬市議会定例会(3月定例会)の概要



令和4年第1回定例会が2月24日から3月17日(22日間)の日程で開かれ、49件の提出議案について審議されました。

会派代表質問は1会派、一般質問は9人が登壇し、活発な議論が展開されました。

### 主な議案

承認(予算) 3件 (令和3年度対馬市一般会計補正予算(第11号) ほか)	➔	全件 承認
予算案 16件 (令和3年度対馬市一般会計補正予算(第14号) ほか)	➔	全件 可決
条例改正案 11件 (対馬市自家用有償バス運行に関する条例の一部を改正する条例 ほか)	➔	全件 可決
議決案 9件 (辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画について ほか)	➔	全件 可決
同意案 8件 (対馬市固定資産評価審査委員会委員の選任について ほか)	➔	全件 同意
その他 2件 (ロシアのウクライナへの軍事侵攻を非難する決議 ほか)	➔	1件 可決 1件 否決

※ 議案、議決結果は対馬市議会ホームページに掲載しています。

議案



議決結果



### 6月定例会のお知らせ

令和4年第2回定例会は、6月中旬に開催を予定しています。  
※日程は、議会運営委員会で協議された後、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。



## 常任委員会審査報告

### 総務文教常任委員会

委員長 上野 洋次郎

#### ◎付託された案件(2件)

①令和3年度対馬市一般会計補正予算(第14号)

②令和4年度対馬市旅客定期航路事業特別会計予算

#### ◎審査内容

○議会費、総務費、消防費、教育費、公債費、諸支出金に係る補正予算が計上され、庁舎建設整備に係る基金積立金、浮体式洋上風力発電による地域の脱炭素化ビジネス促進事業委託料、SDGsスタディツアー企画運営支援業務委託料、有人国境離島運賃低廉化事業負担金、航路運賃割引事業補助金、地方バス路線維持費補助金、消防庁舎の照明及び空調の電気設備改修に伴う工事請負費、学校図書購入費、対馬交流センター管理組合負担金などについて審査を行いました。また、新年度の渡海船の運航に係る事業費等について審査を行いました。



### 厚生常任委員会

委員長 小田 昭人

#### ◎付託された案件(6件)

①令和3年度対馬市一般会計補正予算(第14号)

②令和4年度対馬市診療所特別会計予算

③令和4年度対馬市国民健康保険特別会計予算

④令和4年度対馬市後期高齢者医療特別会計予算

⑤令和4年度対馬市介護保険特別会計予算

⑥対馬市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

#### ◎審査内容

○総務費、民生費、衛生費に係る補正予算が計上され、個人番号カード転入・転出・連続ワンストップ化対応改修委託料、障害福祉サービス費、新型コロナウイルス感染症診療所特別会計等、所管する4特別会計の予算について審査を行いました。また、放課後児童支援員の資格取得研修の受講機会を確保するための経過措置期間を延長する改正を行う対馬市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について審査を行いました。



### 産業建設常任委員会

委員長 春田 新一

#### ◎付託された案件(4件)

①令和3年度対馬市一般会計補正予算(第14号)

②令和4年度対馬市集落排水処理施設特別会計予算

③令和4年度対馬市水道事業会計予算

④対馬市ファミリーパーク条例の一部を改正する条例

#### ◎審査内容

○農林水産業費、商工費、土木費、教育費、災害復旧費に係る補正予算が計上され、農地集積・集約化対策事業補助金、座礁船撤去工事費、産地水産業強化支援事業補助金、新型コロナウイルス対策営業時間短縮協力金、事業継続支援給付金、トンネル長寿命化工事、道路改良・橋りょう整備工事費について、集落排水処理施設事業及び水道事業運営に係る予算について審査を行いました。また、新たな施設を導入したことにより、使用料金等を設定するための所要の改正を行う対馬市ファミリーパーク条例の一部を改正する条例について審査を行いました。



## 予算審査特別委員会審査報告

### ■ 予算審査特別委員会

委員長 糸瀬 雅之

本委員会は、令和4年2月28日から3月3日までの4日間、対馬市議会議場において、担当部長等関係職員の出席を求め、細部にわたり説明を受け、審査を行いました。また、3日の最終日には、市長の出席を求め、総括質疑を行いました。

令和4年度の一般会計歳入歳出予算の総額は、令和3年度予算と比較いたしました。1・5%増の312億5,200万円となっております。

歳入予算につきまして、市税は、対前年度比プラス4・3%となっております。これは、令和3年度当初予算において新型コロナウイルス感染症の影響等による市税の減収を見込んでいたことによるもので、令和4年度につきましては、現状での見込みとされています。

地方交付税は、令和4年度分の配分・算定方法が未確定であることを考慮して、対前年度比プラス2・2%で計上されています。

その他の主な歳入として、財政調整基金、減債基金、合併振興基金などから約24億9,000万円を繰り入れるほか、財源補填がある辺地対策事業債、過疎対策事業債、臨時財政対策債など約35億5,000万円の市債が計上されています。

歳出予算につきまして、人件費は、職員数の減や選挙事務に係るものの減等により、対前年度比マイナス2・9%、約46億4,000万円が計上されています。物件費は、対馬博物館のオープン、塵芥

処理施設保守費用、市税に係る電算システム導入・更新費用の増等により、対前年度比プラス4・6%、60億3,000万円が計上されています。

維持補修費では、市民の要望に対し機動的に対応できるよう、市道、農林道、河川などの補修工事費等、約1億9,000万円が計上されています。

扶助費は、生活保護費、障害者自立支援事業費、児童措置費等で約35億3,000万円計上。

公債費では、元利償還金合計で、約48億1,000万円が計上されています。

普通建設事業費では、市道及び漁港・漁場整備の他、認定ことも園建設、厳原港国際ターミナル建設等、約50億3,000万円が計上されています。

また、主な新規・継続事業としまして、新型コロナウイルス感染症の影響をはじめ、少子高齢化、人口減少など、今後の社会情勢変化に対応した持続可能な行政運営を確保していくため、ICT及びデジタル技術を最大限に活用し、業務の効率化、市民サービスの更なる向上を目指すDX推進事業、世界的な取り組みであるSDGsや脱炭素社会へ向けた洋上風力発電事業、離島航空路線確保事業、燃油高騰対策事業、輸送コスト助成事業など、第2次対馬市総合計画に掲げる将来像への「4つの挑戦」対馬づくり」に基づき各種事業が計上されています。

審査の過程におきまして、委員から「計画性に欠けていると思われる事業、説明資料が不足していると思われる事業が見受けられる。各種事業の予算計上にあたっては、十分な資料の収集、分析を行い、確立した

事業計画を基に、市民及び議会が納得できるような事業の策定をしてほしい」との意見もありました。最後に、市長部局におかれましては、各事業の執行に当たっては、本委員会での指摘事項、意見、要望等を十分に考慮され、対馬市民の安心・安全な生活、市民サービス向上とコロナ禍で疲弊した対馬経済の再生・発展に向けて迅速かつ全力で取り組まれることを強く要望いたします。

### 令和4年度当初予算総括表

(単位：千円、%)

会計名	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率	
一般会計	31,252,000	30,788,000	464,000	1.5	
特別会計	診療所	449,856	457,319	△7,463	△1.6
	国民健康保険	4,474,106	4,519,000	△44,894	△1.0
	後期高齢者医療	436,671	398,134	38,537	9.7
	介護保険	3,997,134	4,032,866	△35,732	△0.9
	旅客定期航路事業	42,146	40,979	1,167	2.8
	集落排水処理施設	23,759	24,016	△257	△1.1
水道事業会計	1,636,818	1,653,600	△16,782	△1.0	

※特別会計、水道事業会計については常任委員会で審査

※水道事業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額

## 会派代表質問

### 対政会

会派代表質問とは、会派を代表して行う質問のことです。対馬市議会では、3月・12月の定例会において行っています。質問時間は、所属議員数で算定し、90分を限度としています。その時間内で関連質問も認められています。

対馬市議会には、5会派がありますが、今回は1会派が質問を行いました。



糸瀬 雅之議員

#### ◆第2次対馬市総合計画

##### ひとつづくりについて

(糸瀬) 保育施設の備品・空調設備・遊具の今後の整備について。

(市長) 対馬市としては、廃園となった施設からの再利用を行い、安全性、緊急性を考え、全体的な優先順位を検討し、今後保育環境に努めていく。

(糸瀬) 佐須奈保育所、仁田保

育所については早急に空調設備、備品等については点検を行い、子供たちのために環境整備を考慮していただきたい。

(市長) 今後、早い段階で点検を行い対応をしていく。

(糸瀬) 対馬市独自の子育て支援として、出産お祝い金として3人目から10万円、一人親世帯、小学校入学時にランドセル購入補助金などの支援策を考えていただきたい。

(糸瀬) 2年に及ぶコロナ禍で対馬市民の経済的負担軽減措置として、子育て世代の経済的に厳しい家庭などへの、子供たちの島外スポーツ、文化活動への補助金の交付基準の見直し検討はできないか。

(教育長) 補助金については、子ども夢づくり基金を活用して補助金を交付しており、対馬市は他の自治体より多くの補助金を交付しているため、現段階では見直しの考えはない。

(糸瀬) 高校生に対しての交付基準の見直しを再度検討していただきたい。

(糸瀬) 特別支援学校(小・中学部)の設置に向けた取組と現在の進捗状況について。

(教育長) 令和3年12月に実施した保護者によるアンケートの結果から、将来的に必要性があるとの認識をもっており、今年1月7日に市長、教育長連名の要望書を、県教育委員会の平田教育長に手渡したところです。今後は県教委、対馬市教委との早い段階で設置に向けて取り組んでいく。

(糸瀬) 設置場所としては、豊玉地区の廃校を活用し、厳原方面、上対馬方面からの送迎バスによる通学手段を考えてみてはどうか。

(教育長) 廃校利活用は考えてなく、既存の学校に併設を考えており、小中高の連携した学校の設置に向けて検討していく。

#### ◆人口減少対策について

(糸瀬) 現在の対馬市の人口減少対策では増加が見込まれないと思う。今後は専門部署の設置や大胆な企業誘致を考えるべきと思う。

(市長) 若者の移住・定住については住居環境が重要であり、輸送コストを考えると製造業の企業誘致は厳しく、観光関連企業やソフトウェア、情報関連企業の誘致を進めていく。



3月定例会一般質問

市政を問う



入江 有紀議員

**(入江)** 一般質問に入ります前に、市長に一言お礼を申し上げたいと思います。6月の一般質問でお願いいたしておりました阿連地区の病院行きのバスの件と、仁田歯科診療所の内装の件につきまして、早急に対応していただき、ありがとうございます。市民の方々が大変喜んでおられます。本当にありがとうございます。

◆**有人国境離島法について**

**(入江)** 家族を残して本土に仕事で出ている家族の運賃を、準島民として割引できるように、担当部署に働きかけていただけないでしょうか。

**(市長)** この問題は、今まで何人も議員さんが質問されましたが、離島は対馬だけではいなくて、なかなか難しいと思います。

◆**水道料金について**

**(入江)** 1月8日、市民の方から投書があり、1月18日の長崎新聞に掲載していただきました。商事会社と株式会社2社が、合わせて26年間水道料金未納のままですが、これを許すのか？という文章でした。私が早速、水

道局を調べたところ、令和2年に発覚し、令和2年から2年間さかのぼって水道料金をもらったとのことですが、20年間支払ってなくて、たった2年分もらっただけで許したということですが、そんな馬鹿なことがあるのでしょうか。このことを水道局長に言って、旧美津島町を調べさせると言うことでしたので、安心していただけたところ1か月以上たつても局長からの返事はありませんでした。あまりにも自堕落すぎます。

**(市長)** 美津島町時代のことで、何も書類が残っていないので答弁できません。

◆**老人ホームの件について**

**(入江)** この問題は、9月、12月と一般質問で老人ホーム待機者の件は、部長がくどくど言い訳をされましたが、現に入居は申し込みをしてから3年以上も待つても入居できなく、亡くなっていく現状です。

**(市長)** 介護保険施設の整備につきましても、第9期以降の介護保険事業計画策定において、高齢者の人口推計、介護サービスの需要等を精査しながら、整備が必要と判断した場合は、将来安定した介護保険事業の運営及び現在の介護サービスを継続して供給できるよう慎重に判断したいと考えています。また、必要と判断した場合、公募による施設整備となります。



小島 徳重議員

◆**ウイズ・ポストコロナ時代における観光振興について**

**(小島)** 国内観光客誘致についての課題・打開策について。

**(市長)** 課題①島外からのアクセス②地元の受入体制③対馬にわざわざ観光に行く目的の欠如。打開策①「しま旅」商品の認知度を上げる。②各事業所の連携強化、おもてなし機運の醸成。

③対馬の「売り」は歴史、自然食、釣りなど対馬ならではのコンテンツを「尖ったもの」にして、全国にPRする。

**(小島)** 観光客誘致のため、ユネスコエコパークへの登録、対馬の活用を推進すべき。

**(小島)** 観光振興推進体制の課題・打開策について。

**(市長)** 課題は多岐・多様、無数にある。現在、観光振興推進計画を作成中。観光業者と行政の意思の疎通を図り、観光客のニーズに応えたい。

**(小島)** 観光物産協会の組織か

ら「物産」を分離、地域商社に移譲し、組織を観光に焦点化したらどうか。

◆**学童クラブ「けいめい」の充実について**

**(小島)** 令和4年度の希望者数と受入者数は。

**(市長)** 定員は49名、希望者は52名。3名の待機者。状況の変化があり得る。

**(小島)** 4年生以上で希望者があれば受け入れが可能か。

**(市長)** 3年生までを優先。施設に空きがあれば6年生まで受け入れる。

**(小島)** 学童「けいめい」の現在の施設は不十分である。新しい体制が必要。

**(市長)** 待機児童の発生等、課題となるべき事項があれば、改善に向けた取組が必要。今後の利用希望者状況等を見据えながら、事業者と連携を図り、ニーズに応えたい。

**(小島)** 課題、ニーズがある。国の「新・放課後子ども総合プラン」の通知に基づき、鶏鳴小学校内で学童クラブを運営すべき。**(市長)** 教委及び事業所との協議が必要。スピードアップして協議を進める。

## 3月定例会一般質問

## 市政を問う



陶山 荘太郎議員

◆**対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略における対馬3高校の特性にあった文化・スポーツ指導者招聘事業の拡充について**  
**(陶山)** 対馬3高校の特性に合った文化・スポーツ指導者招聘事業の現状と問題点について。  
**(市長)** 本事業は、3高校の意向を聞き取りバレーボール、長距離・駅伝等及びソフトテニスを設定し、取り組んでいる。指導者への個別依頼を予定していたが、コロナの影響で取り組みを進められていない。今後は、指導者候補の速やかな人選のため、公募も視野に含め進めていく。  
**(陶山)** 文化・スポーツだけでなく、高校の教育科目にはない公務員試験科目のリモート講義を行う費用についても支援できないか。

影響も少なく、事業のスピード化が図られるのではないかと。  
**(市長)** 島内での学習合宿であれば、何らかの支援拡大ができると考える。  
◆**生活インフラの維持と安心・安全なまちづくりについて**  
**(陶山)** 現在の防犯灯の設置状況と今後の新設方針について。  
**(市長)** 通学路や歩行者が多数の道路に約6,600か所設置し、電気代は年間約1,840万円。新設は、地区要望で申請があった場所を担当者が現地確認し、予算の範囲内で設置している。  
**(陶山)** 災害時の停電対策として、ソーラーパネル式の防犯灯を避難時の危険箇所等に用途を区分して増設できないか。  
**(市長)** 台風等の災害時には、差し迫った命の危険がなければ、夜間の移動は極力避け、明るくなつて安全を確認後に移動していただきたい。どうしても夜間に避難する場合は、懐中電灯により安全を確保していただきたい。停電対策は、今後の検討課題としたい。

◆**対馬博物館について**  
**(春田)** 開館に向けて取組は。  
**(市長)** 現在、交流ゾーンの建設を進めている。4月29日に内覧会を実施し、開館に向けて取組んでいる。  
**(春田)** 運営管理方針は。  
**(市長)** 運営については当分は市直営で考えている。持続可能な運営をしていくためにも指定管理も含めて民間委託等、運営形態を探っていききたい。  
**(春田)** 博物館と近隣観光施設との連携の取り方は。  
**(市長)** 近隣の4施設で使われる周遊チケットを考えている。  
**(春田)** 観光の拠点としての駐車場整備はどのようにされるのか。  
**(市長)** 山下通りの駐車場については、普通車28台分整備は整っている。旧厳原幼稚園跡地を文化庁と協議してバスの乗降所として利用されるように協議を進めている。



春田 新一 議員

**(春田)** 朝鮮通信使歴史館の裏の土地については、買収を考えていると説明があったが。  
**(市長)** 買収に向けて協議を進め、遅くなりましたが財産取得契約を済ませたところです。駐車場として整備を進める。バス3台ほどは駐車可能です。  
◆**子育て支援と教育環境の充実の進め方について**  
**(春田)** 特別な支援が必要な医療的ケア児の支援体制と取組は。  
**(教育長)** 看護師を配置し医療的ケアを行っている。看護師の人材不足が、今後、不安である。  
**(春田)** いじめ撲滅や不登校対策の教育委員会としての取組は。  
**(教育長)** 学校では欠席が続く子供さんには連絡を取り、いじめ防止基本方針に沿って取り組んでいる。  
**(春田)** 教育支援センターの運営状況は。  
**(教育長)** 不登校や悩みを抱える児童・生徒の調査をし、指導助言をしている。上地区のほうは悩みを抱える児童は少ない。今後、支援があるのであれば指導員が向いて支援していく方法もあるのではと思っている。



## 市政を問う

## 3月定例会一般質問



島居 真吾議員

### ◆河川の改修及び避難所の設定について

(島居) 佐護川の現在の改修状況と、今後、市としての計画について、また、避難所について伺う。

(市長) 河川改修の早期完成は喫緊の課題であり、重要案件として3年連続で直接、県知事に要望書を提出している。まずは一期工事として河口から井口ポンプ場上流までの3・45kmの間を先行して工事を進めている。今後の見通しとして、令和4年度は井口大橋の上、下流の護岸整備を含め工事の進捗を図るなど、一期工事の残り1・49kmを令和8年度までに完成させ、引き続き上流の二期工事を令和9年度に着手できるよう、調査、設計を並行して進めていくことを事業主体の長崎県から聞いている。

避難所の開設については、佐護地区では、ふれあいプラザ、

佐護住民センター、井口地区集会施設、東雲寺、若宮神社などを緊急避難場所として指定している。

### ◆有害鳥獣対策について

(島居) シカ、イノシシ対策及び捕獲頭数について伺う。

(市長) 環境省が主催した「対馬日本鹿対策戦略会議」があり、その際にも環境省、森林管理署、そして長崎県と対馬市が連携を密にしなが、今後の対策を練っていくことになった。

捕獲頭数は、令和2年度はシカが7,580頭、イノシシが9,471頭を捕獲している。

(島居) 一年間を通じて駆除ができるプロジェクトチームを結成してはどうか。

(市長) プロジェクトチームというより、捕獲隊を広げていただければいいのではないかと考えている。近年、対馬に再び侵入し増殖したイノシシたちの被害に苦しむ島民のため、陶山訥庵公のなした偉業に追いつくべく、私も苦心している。



大浦 孝司議員

### ◆対馬市職員服務規程について

(大浦) 職員が市の事業である有害駆除事業の従事者として捕獲補助金を得ようとする場合、同規程に基づき営利企業等従事許可願を所属長を経て人事課長に提出するものがあるが、先般このことについて、一職員に異なる見解がなされたが、このことについてお尋ねする。

(市長) 公務員の兼業については禁止されているが、人事院規則の運用に該当する場合、この限りではない。解釈としては、通常、一般職員は従事の対象とす

### ◆磯焼け対策について

(大浦) 県が平成30年より行っている磯焼け対策緊急整備事業の成果について尋ねる。コンクリート台座に海藻(クロメ)の種苗を育成し、海底で繁殖させる目的と聞いているが。

(市長) 泉地区、伊奈地区の成果について藻場ブロック内部の海藻は良好な生育状況と聞いている。最終的な目標はクロメから胞子が排出され、付近の海底の岩場で群生していくことであるが、そこまで至っていない。

(大浦) 上対馬豊地区のヒジキの生育状況と食害魚の駆除についてお尋ねします。海水の温暖化でヒジキは対馬管内は収穫に至っていない。豊地区の場合、今年ヒジキの新芽が岩場より吹き出している。従来であれば5月に収穫しているはずだが、3月中旬以降、イヌズミの食害が始まる。これに対し同地区では海岸線に沿って1,600mの範囲にタテ網を仕掛けて収穫まで駆除を行う予定としてヒジキの収穫を目指す。このように対策に多大な経費も予測されることを含め市の考えについて伺いたい。

(市長) 離島漁業再生支援交付金や水産多面的機能発揮対策事業を活用しながら、その活動は拡大しており、全島的な取組につながっている。



# 3月定例会一般質問

# 市政を問う



脇本 啓喜議員

### ◆若者回復率の改善について

(脇本) 若年層が一旦島外に出ることはある程度やむを得ない。それを逆手にとり、一人ではなく島外から配偶者や子供を伴うUターンの拡充を図ってはどうか。例えば、対馬市の課題を子供たちにも把握してもらい、いづれ帰郷を望む生徒の職業選択の参考としてもらってはどうか。また、ますます人材が不足する医療・介護従事者の奨学金制度優遇や、離職者抑制策として市独自の給与上乗せ支給等の検討はできないか。

(市長) 各学校では、ふるさと学習を通じて、児童生徒に本市の課題を把握いただくとともに職場体験やキャリア教育の充実にも努めている。今後さらには奨励したい。また、市内の県病院企業団に新任及び転任する方も奨学金返還支援の対象とする等医療従事者への新たな支援を拡充する。給与上乗せ支給は、他業種との兼ね合いもあり検討していない。

### ◆雇用対策について

(脇本) 後継者不足による島内企業の廃業が多い中、事業継承マッチング支援の推進が必要だと思ふ。地元税理士事務所及び商工会並びに金融機関等と、対馬市も連携して支援できないか。

(市長) 事業継承は本市においても重要な課題だと認識している。市が支援の中心となるのではなく、長崎県商工会議所連合会の「長崎県事業継承・引継ぎ支援センター」と連携して取り組んでいきたい。

### ◆婚活支援の対象年齢を中高年までに引き上げてはどうか

(脇本) 婚活といえば少子化対策と考えがちだが、中高年まで婚活支援対象年齢を引き上げることで、孤立孤独対策、介護人材不足の緩和、寡婦寡夫となった際に配偶者側の親戚や友人からの支援が期待できる等、本人のみならず社会的負担軽減にもつながる。婚活支援対象年齢の引き上げについて市長の見解を求める。

(市長) 従来、年齢制限を設けているわけではない。今後も年齢を問わず幅広く参加できるようにイベントを開催していきたい。



船越 洋一議員

### ◆南部地域アクションプランについて

(船越) 地域に入り協議を重ねていると思うが進捗状況は。

(市長) 地区の代表者による策定委員会を設置し、内山・瀬地区、豆酩地区、浅藻・内院地区と3つのエリアで構成し、地域住民が主体性を持ち、行政と団体とで協議検討していく。内院地区の公衆トイレ及び豆酩住民センター跡地については、アクションプランで対応する。

### ◆旧豆酩幼稚園跡地利用について

(船越) 民間への貸出しが進んでいると思うが進捗状況は。

(市長) 学校施設検討委員会での了解を得て公募をし民間への貸出しが了解されたので、地域の活性化に寄与する目的で貸与する。また、減免については検討委員会でも検討する。

### ◆豆酩公園の災害復旧及び歩道の改修について

(船越) 令和2年の台風9号、10号で豆酩公園の突端の石垣が崩壊し、歩道もひび割れが多数見られるので、石垣の復旧と歩道の改修ができないか。

(市長) 対馬の重要な観光拠点であり、整備を進める。突端の石垣は危険であるため灯台跡地に移設したい。また、歩道につ

いてもアクションプランの中で整備を進める。

◆豆酩広域農道を市道に変更できないか

(船越) 農道では用途が違いため、観光バスの通行に支障をきたすと思うが。

(市長) 農道であるが一般車両、観光バスの通行には支障はない。市道堂前・志多田線の道路の改良及び公衆トイレについては、観光地の交通アクセスとしてアクションプランで検討する。

◆赤米神事にともなう後継者対策について

(船越) 伝統ある赤米神事を長年受け継いで来られた方が体調不良により継続できない状況であり、行政としての支援ができないか。

(市長) 対馬を代表する神事であり、現在まで続けてこられた方に敬意を表したい。無形文化遺産でもあり、継承しなければならぬと思うので、市の文化財課も種々検討し、神田の維持管理は保存会と協議し関係機関とも連携を図っていきたい。

◆雷神社の石橋の掛け替えについて

(船越) 雷神社入口の石橋が厚さ4cmと薄く、川幅が3・9mあり人の通行に危険なため、木製の橋に掛け替えができないか。

(市長) 神社の事業は市が事業主体とはなれないので、地域マネージャー制度を活用し地元で改修できないか。また、観光面からみても考える必要があり、補修が良いか木製の橋が良いか検討して進めたい。

## 3月定例会一般質問

## 市政を問う



波田 政和議員

### ◆市道横町線について

(波田) 公共工事の工期内完成の定義は理解するが、特に市民生活に直結した事案なら利便性を重視し、今後においても改善や取組は考えられないものか。

(市長) さまざまな工事が重複している中で、各工事の調整を図りながら早期完成を目指し、市民の皆様が快適に利用できるよう整備を進める。

### ◆人口流出の歯止め策と島の魅力発信への取組について

(波田) 人口流出の歯止めの特化した対応策を確立し、情報発信力を高めることができないか。また、本市において高齢化が進み、医療・介護の分野では人材不足が深刻な問題であることから、義務教育期間から従事者育成や将来の人材確保に向けた投資が必要ではないか。

(市長) 島の魅力や島の魅力発信については、さまざまな角度・分野において努力している。



また、将来に向けた人材育成については今後、具体化を目指したい。

### ◆新型コロナウイルス感染症の対応について

(波田) 現在、本市において無料PCR検査が実施されているが、誰もが容易に結果が受け取れるようにできないか。

(市長) 現在の無料PCR検査は長崎県が実施しているが3月で終了することから、4月から本市独自で無料検査を4か月間延長する方向で計画している。

## 対馬市議会からのお知らせ

『議会だよりつしま』は内容の充実を図るため発行ページ数の増、表紙のカラー化、レイアウトの一部変更等を行いました。さらに読みやすくわかりやすい議会だよりを目指します。お気づきの点がありましたら対馬市議会広報編集特別委員会(対馬市議会事務局)へご連絡ください。

議会だよりは対馬市議会ホームページにも掲載しています。そのほかにも議会の情報を掲載していますのでご覧ください。

対馬市議会

検索



## 所管事務調査報告

### ■総務文教常任委員会

委員長 上野 洋次郎

本委員会は、令和4年1月31日に、「指定管理者による公の施設の管理状況等について」及び「消防職員の勤務体制等について」所管事務調査を行いました。

厳原町中村にある対馬市まちづくり支援交流館、通称「半井桃水館」は、明治・大正期の小説家、半井桃水の生家跡に整備された施設であり、現在、特定非営利活動法人、対馬郷宿を指定管理者として指定し、和室や多目的スペースなどの貸館業務のほか、浴衣の着付け体験や絵手紙体験などの体験型メニューの設定及び各種サークル団体の定期的な利用など、市民・観光客の憩いの場・活動の場として管理運営されています。施設内には食事処もあり、また、対馬の古い町並みの写真、半井桃水の当時の生家の模型や関連資料の展示など施設管理に対する鋭意努力が感じられました。本施設については、市民への周知も含め、更に知名度アップを図る取組が必要であると考えます。半井桃水を知る学び舎の一つとして、今後も、多くのにぎわいある利用が増えることを望むものであります。

対馬市消防本部について、消防職員における定数は102人、現在の職員数は93人です。消防職員の採用及び退職状況については、ここ数年、新規採用者数と中途退職者数及び定年退職者数に差異がなく、

今年度も、新規採用枠とは別に、職務経験者枠の募集も行いましたが、応募なしの状況であると説明がありました。近年、台風による洪水や地すべり等の災害、全国で消防団員の減少が加速している状況を鑑みると、市民の生命、財産を守る消防業務に携わる職員に対して、今後は、消防職員が必要な資格の取得等に対して助成制度を設ける、救急出動及び火災等における特殊勤務手当の増額、対馬市CATVを活用した職場PRの特集など、魅力ある職場環境を提示していくことで、体力と熱意のある若い人材が増員できるよう検討していただくことを望むものであります。



半井桃水館の管理状況等説明

### ■産業建設常任委員会

委員長 春田 新一

本委員会は令和4年1月27日に美津島町の「あそびパーク」の観光施設としての利用計画及び、国県市道整備について調査を行いました。

あそびパークの多目的広場及び管理棟は長崎県が整備した施設で、平成6年度の供用開始から28年が経過し、管理棟の柱や梁を含む建物全体の腐食と雨漏りが見られる。建て替えについては県と協議中であり、県の方針は改修後、管理棟その他の施設を市に無償譲渡したい意向であるとの説明を受けました。老朽施設を改修しどれほど長寿命化が図れるのか、数年後にはまた改修も考えられる。改修後は対馬市の施設となり撤去費用と建設費用の財源が課題となるため、県と十分な協議を重ね建て替えをお願いしてはどうか。園地の散策路については四季折々の表情を感じることができ、市民の憩いの場と共に観光客を誘客できる公園に整備されているが、休憩所となる東屋等の設置が必要な箇所があるので検討してほしい。対馬飼育舎は令和2年9月から供用を開始、令和3年10月から曳き馬体験を実施し、現在9頭の対馬馬を飼育しているとの説明を受けました。計画的に対馬馬飼育及び活用環境の整備を充実させ、あそびパークを第2拠点として対馬固有の希少動物の保存の場、気軽に希少動物に

## 所管事務調査報告

触れ鑑賞できる場、観光資源として地域振興が図れる場づくりに取り組んでいきたいとの説明を受けました。

委員から管理棟については県との協議を十分に行い決定していただきたい。あそうベイパークには多くのコンテンツがある中で、各関係部署と連携を図り自然環境の保全と利用の増進に努めていただきたいとの意見が出ました。

次に市道改良事業の進捗状況と安定的な予算確保及び、国道道路の整備と進捗状況について説明を受けました。市道改良工事については予定通り進捗しているが、市道尾浦浅藻線の安神、浅藻間はまだ未定になっているとの説明を受けました。国道道路で、一般県道大浦比田勝（豊工区）は2月に最終ルート の地元説明会、その後用地測量、建物補償を進めていく。国道382号（美止々工区）は平成30年度から取り掛かっており今年度も引き続き調査等続けていくとの説明を受けました。

委員会として市道尾浦浅藻線の安神から浅藻間については、今の構想は事業費も莫大で補助事業として事業化が難しく、市の構想がネックになり県との協議も進まないことから一度白紙に戻す方向で協議してもらいたい。この路線は対馬南部の基幹道路であり県と協議を行い事業に取り組んでもらいたい。どの路線も安定的な予算確保に努められ安全な道路整備を期待します。



あそうベイパークの利用状況等説明

### 編集後記

まん延防止等重点措置の適用期間中、長崎県知事選挙が2月3日に告示され、3期12年の経験を掲げる現職を、「長崎県を変える」と訴えた元厚労省官僚出身の新人が、541票の僅差で破り初当選されました。コロナ禍での閉塞感からの脱却、全て一新したい気持ちに反映したかもしれません。39歳で全国の現職知事で最年少。大石賢吾知事が3月2日、初登庁し大石県政が始動しました。就任の記者会見で「新しい長崎県をつくる。全世代が安心して安全に生活できるまちづくりに取り組む」と抱負を述べられました。これから4年間、県民の先頭に立ち、新しい長崎県づくりに汗をかくことを県民は期待しているのではないだろうか。心地よい風が吹き抜け、目に鮮やかな新緑の時期。

欧州の戦火に胸を痛める日々、一刻も早く終局してほしいと願うばかりです。  
（文責・上野洋次郎）



議会広報編集特別委員会

【委員長】小島徳重 【副委員長】島居真吾  
【委員】陶山莊太郎・入江有紀・上野洋次郎